

科 目 名
美術科教育法Ⅲ Principles of Art Education Ⅲ

3年 前期 2単位

小林 孝夫

概 要

中学校教育における美術科の役割を理解し、指導計画の作成や学習指導と評価の工夫の大切さを認識して、教材の見直しや開発の実践を深め、多様な生徒の個性や能力に対応できる教師としての資質と指導力を高めたい。そのための基礎的な知識理解、技能の上に、演習課題をまじえながら、創造性や人間性豊かな授業づくりについての講義を進める。

目 標

中学校教育の概要と美術科指導の現況や課題を理解し、一人ひとりの感性や個性、意欲や充実感を大切に高め、表現力や鑑賞力を伸ばしていく教材研究と授業づくりをめざす。

授業計画

- 1 中学校教育の現況と美術科の課題
 - 発達段階の特徴と美術教育の課題
 - 週5日制、総合学習と必修授業時数削減
 - 個性や能力差と個に応じた指導
 - 基礎基本、技術の習得と学習意欲や充実感
 - 評価や助言のあり方と学習意欲
 - 美術教育と生徒指導
- 2 学習指導の実際とポイント
 - 主体性、創造性を高める授業づくり
 - 個を生かす響きあう学習集団づくり
 - 関心、意欲を喚起する導入指導
 - 能動的な鑑賞活動の大切さ ほか
- 3 年間計画の作成と学習指導の工夫
 - 主題や技法など多様な学習体験と新鮮な課題意識
 - 総合化や校外学習 ほか
- 4 学習指導と評価の工夫
 - 結果だけでなく関心意欲、過程を大切にした指導と評価
 - 自己評価と助言
- 5 教材の見直しと開発③
 - 遊びの要素と創造的課題性
 - 基礎基本と創造的発展性
 - 観察（写生）的表現とイメージ表現 ほか

評価方法

講義内容や演習、討議に対する意欲、態度とレポート、教材研究などの提出物および出席状況を総合して評価する。

教 材

必要に応じ随時準備する。